

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)	評価 実 施 判 定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費		1 担当部課名				
			内 人件費		2 評価責任者氏名				
			R7決算額(円)		3 妥当性評価				
事務事業名	内 直接事業費	4 有効性評価							
	内 人件費	5 効率性評価							
1	601001010	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、本署の施設設備等の維持管理を行う。	29,043,222	○	事務事業評価		経年劣化による雨漏り等の不具合が発生しているため、施設設備等の点検及び整備を行う。また、不良箇所については、早期に修繕を行う必要がある。	・不具合箇所の早期発見のため、施設設備の点検を行った。 ・庁舎照明LED化工事及び仮眠室エアコン修繕工事等を行い消防活動の拠点としての機能確保と施設の維持管理に努めた。	施設の長寿命化を考慮し、点検維持管理の徹底及び不具合箇所の修繕を実施することで、消防活動の拠点としての機能を確保する。
	消防・救急体制の充実		13,086,384		1 消防本部 消防課				
	本署管理事務		15,956,838		2 江角幸二				
			28,698,118		3 高い				
			12,008,474		4 高い				
16,689,644	5 高い	改善の効果		普通					
2	601001020	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、赤羽根分署の施設設備等の維持管理を行う。	14,867,595	○	事務事業評価		経年劣化及び塩害による不具合が発生しているため、施設設備等の点検及び整備を行う。また、不良箇所については、早期に修繕を行う必要がある。	・不具合箇所の早期発見のため、施設設備の点検を行った。 ・庁舎照明LED化工事及び会議室エアコン修繕工事等を行い消防活動の拠点としての機能確保と施設の維持管理に努めた。	施設の長寿命化を考慮し、点検維持管理の徹底及び不具合箇所の修繕を実施することで、消防活動の拠点としての機能を確保する。
	消防・救急体制の充実		5,388,162		1 消防本部 消防課				
	赤羽根分署管理事務		9,479,433		2 江角幸二				
			12,270,241		3 高い				
			6,047,665		4 高い				
6,222,576	5 高い	改善の効果		普通					
3	601001030	火災、救急等における迅速な出動体制の維持、災害時における消防活動の拠点としての機能確保をするため、渥美分署の施設設備等の維持管理を行う。	19,832,329	○	事務事業評価		経年劣化による雨漏り等の不具合が発生しているため、施設設備等の点検及び整備を行う。また、不良箇所については、早期に修繕を行う必要がある。	・不具合箇所の早期発見のため、施設設備の点検を行った。 ・庁舎照明LED化工事等を行い、消防活動の拠点としての機能確保と施設の維持管理に努めた。	施設の長寿命化を考慮し、点検維持管理の徹底及び不具合箇所の修繕を実施することで、消防活動の拠点としての機能を確保する。
	消防・救急体制の充実		5,722,893		1 消防本部 消防課				
	渥美分署管理事務		14,109,436		2 江角幸二				
			26,123,329		3 高い				
			11,624,273		4 高い				
14,499,056	5 高い	改善の効果		普通					
4	601001060	・消防、救助活動業務の円滑な運営を図る。 ・火災等の災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、迅速かつ安全・的確な活動を実施する。	332,392,353	○	事務事業評価		・消防力向上図るため、各種訓練の実施や老朽化した資機材の更新及び効果的な資機材の購入を行う。 ・更なる消防力向上のため、人材育成に努め組織力向上に努める必要がある。	・計画的に各種訓練を実施し、消防力の維持、向上に努めるほか、研修等を行うなど、職員教育を実施した。 ・県内消防本部との合同訓練を行い、応援・受援活動の連携を図ることで、大規模災害での対応力向上に繋がる訓練成果を得た。	・例年変化する気象状況下での活動や多種多様化する事案に対応するため、継続的に各種訓練を行い、消防活動技術を習得し消防力の向上に努める。 ・消防力維持、事故防止のため、資機材の適正な維持管理を実施し、適宜更新計画の見直しを行い、災害に対し万全な体制づくりに努める。
	消防・救急体制の充実		8,018,034		1 消防本部 消防課				
	消防活動事業		324,374,319		2 江角幸二				
			328,520,530		3 極めて高い				
			8,629,273		4 高い				
319,891,257	5 高い	改善の効果		高い					
5	601001070	東三河共同受信において迅速かつ的確な出動指令を行い、通信室において火災時の同報無線、災害時の無線統制、緊急通報システム受信及び各種連絡を行い各種災害による被害の軽減を図る。	94,070,676	○	事務事業評価		・東三河消防指令センター及び東三河各消防本部と連携し、円滑な通信業務を実施している。 ・通信指令システム機器及び消防救急デジタル無線を維持管理していくため、保守管理、修繕又は更新する必要がある。	消防救急デジタル無線及び指令システムのトラブル等を共有し、早期解決に努め円滑な運用が図れた。	24時間365日、安定稼働のため全更新した消防緊急通信指令システムを継続して安定的に運用するため、保守点検内容を見直し、併せて東三河各消防本部と緊密な連携体制を構築し円滑な運用を図る。また、老朽化した消防救急デジタル無線を東三河消防通信指令事務協議会と連携し、適正な維持管理と更新に向けた協議、調整を図る。
	消防・救急体制の充実		22,881,348		1 消防本部 消防課				
	通信指令事務		71,189,328		2 江角幸二				
			92,114,894		3 極めて高い				
			24,074,629		4 高い				
68,040,265	5 高い	改善の効果		高い					
6	601001080	災害時に安全・迅速な消防団活動を実施するため、装備・資機材の充実、被服等の貸与及び消防団車両の維持管理を行う。また、消防団員の処遇を改善し、地域防災力の充実強化に努める。	123,223,749	○	事務事業評価		災害形態の多様化により消防団活動が多岐にわたり、その役割はより大きくなってきている。それを踏まえ、団員に求められる活動がより実践的なものであることから、基礎から応用まで適応した訓練を実施していく必要がある。	・団員が安全に活動できるよう、被服、資機材等の安全装備品を貸与した。 ・消防団活動の見直しにより策定した、消防団活動訓練方針に基づき実践的な訓練を行った。	・消防団の装備基準を踏まえ、安全確保対策や装備品の充実強化を図る。 ・消防団の災害対応力の向上が図れる環境づくりから持続可能な消防団活動を目指す。
	消防・救急体制の充実		101,466,437		1 消防本部 消防課				
	消防団活動事業		21,757,312		2 江角幸二				
			117,600,828		3 極めて高い				
			94,765,463		4 高い				
22,835,365	5 高い	改善の効果		高い					
7	601001090	災害時の消防団活動を円滑にするため、消防団の活動拠点である詰所車庫の維持管理を実施する。	11,919,712	○	事務事業評価		市内21か所の詰所車庫を調査し、修繕を実施している。しかし、老朽化が進んでいる施設もあるため適切に修繕を行い、維持管理を図る必要がある。	南部分団1号車詰所ほか7か所の修繕を行い、消防団の活動拠点としての維持管理を図った。	・施設の劣化度を調査し、必要により修繕等を行う。 ・施設の長寿命化を図るとともに、地域の活動拠点としての機能を維持する。
	消防・救急体制の充実		9,679,000		1 消防本部 消防課				
	消防団施設管理事業		2,240,712		2 江角幸二				
			6,750,090		3 高い				
			3,757,887		4 高い				
2,992,203	5 高い	改善の効果		高い					

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)	評価 実 施 判 定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費		1	担当部課名			
	事務事業名		内 人件費		2	評価責任者氏名			
			R7決算額(円)		3	妥当性評価			
			内 直接事業費		4	有効性評価			
			内 人件費		5	効率性評価			
8	601001100	火災予防啓発活動を積極的に実施し、市民の防火意識の向上を図るとともに火災を早期に発見し、火災による死傷者及び被害の軽減を図る。	36,603,039	○	事務事業評価		・防火対象物へ定期的な立入検査を行い、早期に違反是正を実施する。 ・実態が把握できていない非特定防火対象物について調査し、違反があれば是正を行う必要がある。	・特定防火対象物に対して立入検査を行った。立入検査166件 ・非特定防火対象物に対して立入検査を実施し、実態を把握するとともに違反是正を行った。立入検査51件 違反是正1件	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	1,270,848		1		消防本部 消防課				
	35,332,191		2		江角幸二				
	30,585,809		3		高い				
	560,717		4		極めて高い				
			30,025,092		5	高い			
9	601001110	法令に基づき、危険物施設や煙火消費に係る事務の手続き及び立入検査等を適正に行い、危険物施設や煙火に関連する事故の発生を防ぎ、市民の安全を確保する。	21,580,861	○	事務事業評価		・危険物施設の許可、認可及び施設への立入検査を行い、安全操業の推進を図っている。 ・煙火消費に係る許可及び立入検査を行い、安全に消費できるよう指導している。 ・事故を未然に防ぐため、継続した立入検査や指導が必要である。	・危険物施設からの危険物漏えいや、煙火消費による事故を防ぐため、全危険物施設と煙火消費の立入検査を行った。 ・事故防止対策が必要なものについては適正に指導を行い、事故の防止に努めた。	既存の危険物施設の多くは、設置からの年月が経過し老朽化が進んでいる。このことから、事故防止に向けた安全対策の推進を図り、業態に応じた適正な指導を継続的に取り組んでいく必要がある。
	331,409		1		消防本部 消防課				
	21,249,452		2		江角幸二				
	19,130,173		3		高い				
	248,228		4		高い				
			18,881,945		5	普通			
10	601001120	・災害から市民の生命、身体及び財産を保護するため、消防車両及び車両装備品の維持管理を行う。 ・緊急出動の対応が円滑に機能できるように整備を行う。	39,914,704	○	事務事業評価		・緊急車両として安全に使用できるよう万全な車両の整備が必要である。 ・継続的に法定点検及び自主点検を行い徹底した維持管理を行う必要がある。	・法定点検や自主点検を徹底し、交換が必要な部品を適切に交換することで、緊急車両の維持管理を行った。 ・特殊艤装車(はしご車、CAFS艤装車)のメンテナンスを艤装メーカーで実施して安全運行を徹底した。	・車両の法定点検等を徹底し、故障が発見された場合は修繕を行い、維持管理を行う。 ・特殊艤装車は高度な整備と管理、計画的なメンテナンス等を実施する必要がある。 ・車両の老朽化による故障が増加し適切な対応ができなくなる恐れがあるため、計画的な車両更新に努める。
	11,890,024		1		消防本部 消防課				
	28,024,680		2		江角幸二				
	50,351,093		3		高い				
	13,526,998		4		高い				
			36,824,095		5	普通			
11	601001130	・水難救助活動の円滑な運営を図る。 ・水上バイクの機動性を生かし、迅速かつ安全・的確な活動を実施する。	22,313,463	○	事務事業評価		・水上バイク2台運用を安全に行うため、特別水難救助隊員の技量の維持、向上を図る必要がある。 ・水難救助活動を安全に行うため、特別水難救助隊員の継続的な養成が必要である。	・水難救助活動を迅速、安全に継続するため水難救助用水上バイクを購入した。 ・特別水難救助隊員の養成を行った。機関員3人 ・水難救助活動に必要な資機材の点検整備を行った。	・水難救助活動の円滑な運営のため、計画的に特別水難救助隊員の養成を行い、継続して訓練をする。 ・水上バイクの法定点検や自主点検を実施し、維持管理を行う。
	1,176,457		1		消防本部 消防課				
	21,137,006		2		江角幸二				
	16,834,730		3		極めて高い				
	5,806,573		4		高い				
			11,028,157		5	高い			
12	601002010	・火災時の迅速な消火活動に備え、既設防火水槽の補修等を行い有効水利を確保する。 ・無蓋防火水槽の防護金網を取替え、安全確保に努める。 ・消火栓や他の防火水槽との水利状況を考慮し、老朽化した無蓋防火水槽の取壊しを進める。	7,401,477	○	事務事業評価		消防水利を常時使用できるよう巡視点検を充実させるとともに、安全上の維持管理や環境改善、水利標識等の管理の徹底を図る。	・水利標識、防火水槽用金網交換を実施するとともに、老朽化した防火水槽2基の取壊し及び漏水の発生した防火水槽4基の修繕を行った。 ・地域の消防団等とともに、水利周辺の草刈りや雑木の整理を行い、水利環境の改善を行った。	・有事の際に円滑な消防活動が行えるように消防水利の維持管理を行うとともに、老朽化した消防水利の取壊し、修繕に取り組む。 ・無蓋防火水槽の安全対策を計画的に実施する必要がある。
	3,590,381		1		消防本部 消防課				
	3,811,096		2		江角幸二				
	22,625,388		3		高い				
	12,741,966		4		高い				
			9,883,422		5	普通			
13	601002020	・消防水利として消火栓の適正な配置を考慮し整備を図る。 ・火災時に消火栓が適切に使用できるよう、維持管理・補修を実施する。	25,656,319	○	事務事業評価		水道事業と連携し、耐震性のある水道管を有効利用し、消防水利の効率的な整備を実施する。	消火栓の新設・布設替え等の整備は、水道事業と協議し、消防水利の基準に基づき適正配置に努めた。 消火栓修繕 4基 消火栓撤去工事 1基	・水道事業と連携し、防火水槽配置を考慮しながら消防水利の基準に基づき消火栓の適正配置に努める。 ・消火栓本体の経年劣化が進んでおり、計画的に修繕を行う。
	20,324,810		1		消防本部 消防課				
	5,331,509		2		江角幸二				
	22,044,319		3		高い				
	17,480,804		4		高い				
			4,563,515		5	高い			
14	601002030	火災による被害を最小限に抑えるため、消防水利として防火水槽の整備推進を図る。	7,262,108	○	事務事業評価		消防力の一つである防火水槽の整備は消防の責務であるため、老朽化した防火水槽を耐震性を有する防火水槽に更新する。	・老朽化した防火水槽の更新工事を行った。 ・住宅地の無蓋防火水槽の安全対策工事を行った。 防火水槽更新工事3基 無蓋防火水槽安全対策工事1基	・老朽化した防火水槽の取壊しを行うとともに、消火栓配置を考慮し、防火水槽の適正配置に努める。更新する防火水槽は耐震性貯水槽とし、防火水槽の耐震化率を高める。 ・住宅地の無蓋防火水槽の安全対策工事を推進し、高め地域住民の安全安心に繋げる。
	3,575,000		1		消防本部 消防課				
	3,687,108		2		江角幸二				
	51,264,320		3		高い				
	48,009,720		4		高い				
			3,254,600		5	普通			

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)	評価 実 施 判 定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費		1	担当部課名			
	事務事業名		内 人件費		2	評価責任者氏名			
			R7決算額(円)		3	妥当性評価			
			内 直接事業費		4	有効性評価			
			内 人件費		5	効率性評価			
15	601002040	各種災害に対応するため、老朽化し機能低下した消防車両の更新整備を図る。	134,102,209	○	事務事業評価		消防車両の安全な運行を確保し、災害時の円滑な消防活動を維持するため、車両の耐用年数、老朽化の程度等を考慮し計画的に更新を図っている。	老朽化した赤羽根分署特別水難救助車、渥美分署水難救助車及び消防団指揮広報車の更新を行った。	・消防車両更新計画に基づき、地域の特性に合わせた車両機装をするとともに、車両積載資機材についても各種災害事案に活用できる資機材の導入に配慮する。 ・消防活動に欠くことができない車両は、整備する必要性が高いため計画的に更新する。
			132,862,323		1	消防本部 消防課			
			1,239,886		2	江角幸二			
			35,063,275		3	極めて高い			
			33,268,786		4	高い			
			1,794,489		5	高い		改善の効果	高い
16	601002050	地域住民の安心・安全を確保するため、機能低下した消防団車両を更新し消防力の向上を図り、火災等の各種災害による被害を軽減する。	13,400,596	○	事務事業評価		消防団車両の安全な運行と、災害時の円滑な消防団活動を維持するため、普通運転免許で運行可能な車両に更新する必要がある。	現有の消防ポンプ自動車を運行するためには、準中型免許が必要であるため、車両更新に合わせ普通免許で運行可能な小型動力ポンプ付積載車に更新した。 赤羽根分団2号車	・普通免許で運行可能な車両への更新を進めるとともに、災害時に効果的に活用できる資機材の積載に配慮する必要がある。 ・消防団活動に欠くことができない車両は、整備の必要性が高いため計画的に更新する。
			11,579,527		1	消防本部 消防課			
			1,821,069		2	江角幸二			
			16,573,709		3	極めて高い			
			11,886,730		4	極めて高い			
			4,686,979		5	高い		改善の効果	高い
17	601002060	消防活動の拠点として機能を確保するため、長寿命化を図るとともに、職員の勤務体制の充実や職域拡大に向け施設整備を整える。	4,326,193	○	事務事業評価		各施設の経年劣化が進み不具合が発生しているため修繕や改修工事の必要がある。	消防署1階女子トイレの改修工事、非常用発電機改修工事を行い施設の改善を図った。また、更なる改善のため、庁舎防水改修工事設計業務及び赤羽根分署浴室改修工事設計業務を行った。	経年劣化による不具合に対して、計画的な改修等により施設の長寿命化と施設の機能を改善する。
			3,333,000		1	消防本部 消防課			
			993,193		2	江角幸二			
			36,070,676		3	高い			
			34,408,000		4	高い			
			1,662,676		5	高い		改善の効果	高い
18	601002080	東三河5市で共同運用している消防緊急通信指令施設の更新に伴い、システム機能の向上と機器の整備を行う。	124,897,111	○	事務事業評価		・令和6年度から令和7年度までの2か年を工期とした消防緊急通信指令施設の更新工事を施工。 ・東三河5市で共同運用している消防緊急通信指令施設のシステム機能の維持管理を行う。	消防緊急通信指令システムの全更新に向け、東三河消防通信指令事務協議会と綿密な調整を行い、更新工事を実施した。	東三河5市で共同運用している消防緊急通信指令施設の維持管理と消防救急デジタル無線の更新及び維持管理を行う。
			94,600,000		1	消防本部 消防課			
			30,297,111		2	江角幸二			
			233,356,099		3	極めて高い			
			170,742,850		4	高い			
			62,613,249		5	高い		改善の効果	普通
19	601003010	・救急活動に関する業務の円滑な運営を行う。 ・災害から市民の生命、身体を迅速、安全、的確な活動により保護する。	282,174,805	○	事務事業評価		・救命率及び社会復帰率の向上を図るため、チームトレーニングを十分に行い、適切な処置を実施しながら医療機関へ搬送するとともに、必要な資機材を充実させていくことで、質の高い救急活動を行う必要がある。	・様々な症例でチームトレーニングを行い、救急活動の円滑化及び質の向上に努めた。 ・卓上小型高圧蒸気滅菌器を購入し、救急出動後の資機材殺菌が適切に行えるようになった。 ・救急車積載用除細動器を更新して資器材の充実を図った。	・チームトレーニングを実施していく中で訓練人形の老朽化がみられる。多様化している救急事案に対応し、質の高い救急活動を実施していくため計画的に救急訓練人形を更新していく必要がある。 ・市民に対する応急手当の普及を効果的に推進するため、救命講習用資器材の更新をする必要がある。
			15,913,331		1	消防本部 消防課			
			266,261,474		2	江角幸二			
			304,403,759		3	極めて高い			
			18,491,801		4	極めて高い			
			285,911,958		5	高い		改善の効果	高い
20	601003020	救急救命士等を計画的に養成し、気管挿管及び薬剤投与認定救命士を順次養成する。また、心肺停止前の輸液、血糖値測定及びブドウ糖溶液投与ができる救急救命士を養成する。	43,651,063	○	事務事業評価		・救急救命士の管理職への登用等により運用救急救命士の確保が困難になってくるため、毎年1人以上の養成が必要である。 ・救急救命士業務の高度化に対応するため薬剤投与認定救急救命士、処置範囲拡大認定救急救命士及び気管挿管認定救急救命士の養成も必要である。	救急救命士業務の高度化に対応できる運用救急救命士の計画的な養成を実施した。 新規救急救命士の養成1人 薬剤投与認定救急救命士の養成2人 処置拡大認定救急救命士の養成1人 気管挿管認定救急救命士の養成1人	・救急救命士業務の高度化に対応するため、継続して薬剤投与認定救急救命士、処置範囲拡大認定救急救命士及び気管挿管認定救急救命士を養成する。 ・救急救命士の管理職への登用等により運用救急救命士の確保が困難となるため、計画的に救急救命士を養成していく。
			3,706,983		1	消防本部 消防課			
			39,944,080		2	江角幸二			
			32,928,363		3	極めて高い			
			3,142,680		4	極めて高い			
			29,785,683		5	高い		改善の効果	高い
21	601003030	・災害から市民の生命及び身体を保護するため、救急車両及び装備品の維持管理を行う。 ・緊急出動の対応が円滑に機能できるように整備を行う。	22,366,279	○	事務事業評価		・緊急車両として安全に使用できるよう万全な車両の整備が必要である。 ・継続的に法定点検及び自主点検を行い徹底した維持管理を行う必要がある。	法定点検及び自主点検の徹底を継続し、緊急車両としての維持管理を行った。	・各署において救急車の走行距離にばらつきがみられるため、車両購入費や車両耐用年数等を考慮した運用方法が求められる。救急車走行距離を平準化し、適切な救急車両の運用を行う必要がある。
			3,974,576		1	消防本部 消防課			
			18,391,703		2	江角幸二			
			29,430,584		3	極めて高い			
			3,528,160		4	高い			
			25,902,424		5	普通		改善の効果	普通

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)	評価 実 施 判 定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)	
	施策名		内 直接事業費		1	担当部課名				
	事務事業名		内 人件費		2	評価責任者氏名				
			R7決算額(円)		3	妥当性評価				
			内 直接事業費		4	有効性評価				
			内 人件費		5	効率性評価				
22	602001010	地震や津波、風水害等による自然災害からの被害を最小限に抑えるため、自治会等を中心に自主的に組織された自主防災会の活動及び防災資機材等の整備を支援し、地域防災力の向上を図る。	26,065,082	○	事務事業評価		・奨励金や補助金により、自主防災会の活動や防災資機材等の整備を支援している。 ・自主防災会一斉防災訓練、自主防災活動推進地区への重点支援、防災リーダー研修会などを実施している。 ・自主防災会をはじめとする地域防災力の更なる向上を図っていく必要がある。	・童浦校区で推進地区活動の重点支援を実施。地域の特性に応じた取組を行うことで、地域防災力の向上及び地域住民の防災意識の高揚を図った。 ・消火栓器具箱内物品の盗難被害に対し、緊急対応で支援を行った。	・更なる地域防災力の向上に向け、引き続き自主防災会への支援の充実を図る。 ・推進地区への重点支援の取組は、令和9年度で各コミュニティ協議会が2巡目の実施を終える予定であるが、その後も内容を見直したうえで、継続していく方向で検討する。	
	防災・減災体制の充実		15,689,478		1	防災局 防災対策課				
	自主防災活動推進支援事業		10,375,604		2	小久保 茂之				
			30,017,852		3	極めて高い				
			16,113,824		4	高い				
			13,904,028		5	高い				
23	602002010	各種訓練の実施、講習会・講演会の開催等を通じて、地震や津波、風水害等の自然災害に対する市民の防災・減災意識の高揚を図る。	20,829,125	○	事務事業評価		・総合防災訓練、防災カレッジ、市政ほーもん講座等を実施し、意識啓発を行っている。 ・継続的に防災・減災意識の更なる高揚を図る必要がある。	・愛知県との共催で実施した総合防災訓練に加え、自衛隊による南海レスキュー訓練などを通じ、防災・減災意識の高揚を図った。 ・防災カレッジ、市政ほーもん講座、地震体験車等を通じ、市民への意識啓発を行った。	・より実践的な内容を取り入れた訓練・講習会等を実施し、更なる意識啓発に努める。	
	防災・減災体制の充実		2,540,103		1	防災局 防災対策課				
	防災意識啓発事業		18,289,022		2	小久保 茂之				
			23,978,732		3	極めて高い				
										3,461,262
			20,517,470		5	普通				
24	602002020	防災会議の開催、各種計画及びマニュアル等の改定・進捗管理、自助による防災対策の支援等を実施することで、災害に強いまちづくりを推進する。	39,536,557	○	事務事業評価		・南海トラフ地震や津波、風水害等の自然災害への対応については、自助、共助、公助により地域が一体となって取り組み、災害に強いまちづくりを推進していく必要がある。	・地域防災計画の修正及び各種計画等の進捗管理を行った。 ・災害発生時に迅速な情報収集等を行うためのドローンの運用に向けて、操縦者の養成等を行った。	・地震や津波、風水害等に対し、初動から復旧・復興までの一連の災害対策を推進していく。 ・南海トラフ地震に関する国及び県の被害想定の見直し結果を踏まえ、本市の防災対策への反映を進める。	
	防災・減災体制の充実		8,969,976		1	防災局 防災対策課				
	災害対策事業		30,566,581		2	小久保 茂之				
			35,613,096		3	極めて高い				
										4,334,541
			31,278,555		5	普通				
25	602002040	台風、集中豪雨等による水害や土砂崩れに対応するため、防災用備蓄土のう及び防災資機材を整備し被害の軽減を図る。	2,744,626	○	事務事業評価		風水害等の災害に備え、必要とされる資機材の確保を行う。	出水期等による水害や土砂崩れに対応するため、市内の防災用備蓄土のうの更新を行った。 防災用備蓄土のうの更新 4,050袋	風水害等の災害に対応するため、必要とされる備蓄資機材の整備を行う。	
	防災・減災体制の充実		1,948,965		1	消防本部 消防課				
	災害対策事業(消防)		795,661		2	江角幸二				
			3,252,062		3	高い				
										2,095,657
			1,156,405		5	高い				
26	602003010	災害発生時における災害応急活動・災害復旧活動等を迅速かつ確実に実施するため、食糧や資機材など公的備蓄物品の備蓄及び適切な維持管理を図る。	51,452,057	○	事務事業評価		・備蓄計画の見直しを検討したうえで、計画的に備蓄を進めていく必要がある。 ・能登半島地震を踏まえ、トイレ・衛生対策物品の拡充を図る必要がある。 ・備蓄品や資機材の保管スペースを確保する必要がある。	・食糧や保存水をはじめとする各種備蓄品について、計画的に備蓄を行った。 ・簡易トイレ(便袋)及び衛生対策物品(ボディタオル、歯みがきシート、ドライシャンプー)の備蓄を拡充した。 ・避難所への飲料水用簡易水槽の配備を進めた。	・南海トラフ地震の被害想定の見直しを踏まえ、備蓄計画の見直しを検討する。 ・食糧等の在庫管理について、民間物流会社への業務委託も含めて検討する。 ・避難所に指定されている施設への分散備蓄も含め、保管スペースの確保に努める。	
	防災・減災体制の充実		44,532,244		1	防災局 防災対策課				
	防災備蓄資機材等管理事業		6,919,813		2	小久保 茂之				
			45,303,219		3	極めて高い				
										34,139,686
			11,163,533		5	普通				
27	602003020	防災施設(津波避難施設、防災備蓄倉庫等)や防災設備(津波避難看板、避難誘導照明灯等)の適切な維持管理を図る。	7,675,326	○	事務事業評価		・津波避難看板や避難誘導灯、飲料水兼用耐震性貯水槽等の防災設備の老朽化が進行しており、適切に維持管理・修繕していく必要がある。 ・報民倉や校区防災倉庫等について、適切に維持管理していく必要がある。	・防災設備の点検等を実施し、不具合が生じた設備等の修繕を行った。 ・報民倉の外壁改修工事を実施した。	・防災施設及び防災設備を適正に維持管理し、修繕等が必要な場合は迅速に対応する。	
	防災・減災体制の充実		5,568,085		1	防災局 防災対策課				
	防災施設等管理事業		2,107,241		2	小久保 茂之				
			12,908,162		3	極めて高い				
										10,935,597
			1,972,565		5	普通				
28	602003030	地震・津波・風水害等の災害情報や交通安全・防犯情報、その他市政全般に関する情報を、市民に対し迅速かつ的確に伝達するため、防災行政無線を始め各種防災情報通信機器の適切な管理運用を図る。	25,439,578	○	事務事業評価		・防災行政無線を始め、各種防災情報通信機器の適切な維持管理を行っている。 ・機器等の老朽化が著しく、修繕が困難な機器もあるため、計画的に更新等をしていく必要がある。 ・安心安全ほっとメール及び防災アプリの更なる普及に努め、情報伝達を強化していく必要がある。	・通信機器の保守点検を実施するとともに、故障機器の修繕・改修を実施した。 ・全国瞬時警報システム(J-ALERT)及び河川水位計機器の更新工事を実施した。	・通信機器を適正に維持管理し、修繕等が必要な場合は迅速に対応する。 ・老朽化した通信設備・機器について、計画的に更新を進める。 ・安心安全ほっとメール及び防災アプリの普及啓発に努める。	
	防災・減災体制の充実		21,390,641		1	防災局 防災対策課				
	防災情報通信施設等管理事業		4,048,937		2	小久保 茂之				
			32,698,061		3	極めて高い				
										28,893,919
			3,804,142		5	普通				
								改善の効果	高い	

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)	評価 実 施 判 定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費		1	担当部課名			
	事務事業名		内 人件費		2	評価責任者氏名			
			R7決算額(円)		3	妥当性評価			
			内 直接事業費		4	有効性評価			
内 人件費	5	効率性評価							
29	602003040	老朽化が進行した防災行政無線(同報系：屋外拡声設備)を旧型のアナログ式設備からデジタル式設備に更新するなど、緊急性の高い防災情報や行政情報を的確に伝達するための手段の充実及び機能の向上を図る。	14,960,734	○	事務事業評価		・防災行政無線(同報系)のデジタル化工事を実施。(R5-R7) ・愛知県が実施する次世代高度情報通信ネットワーク整備工事に対し、負担金を支出。(R7-R8)	・防災行政無線(同報系)のデジタル化工事を完了した。 ・条件に合致した希望者に戸別受信機を貸与した。 ・愛知県次世代高度情報通信ネットワークの整備を進めた。	・愛知県が実施する次世代高度情報通信ネットワーク整備工事について、連携して進める。(令和8年度完了予定)
	防災・減災体制の充実		7,559,080		1	防災局 防災対策課			
	防災情報通信施設等整備事業		7,401,654		2	小久保 茂之			
			1,037,862,461		3	極めて高い			
			1,031,456,413		4	極めて高い			
6,406,048	5	普通							
30	602003060	洪水、高潮又は津波による水害等の災害発生防止に努め、応急対策を行うために必要な資材の整備を図る。	8,884,036	○	事務事業評価		災害時の被害軽減及び迅速な対応ができるよう資機材の充実と適正な維持管理が必要である。	浸水等の被害軽減を図るために排水ポンプの操作訓練を実施し、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。また、水害発生時に必要な応急対策用資材を備蓄した。	各地で発生している豪雨等大規模な水害に備えるため、さらなる資機材の充実を図るとともに、資機材の使用方法等の訓練を実施することにより、災害現場での迅速な対応及び被害の軽減に繋げる。
	防災・減災体制の充実		5,649,662		1	都市建設部 維持管理課			
	水防対策事業		3,234,374		2	渡會 英樹			
			6,657,125		3	高い			
			734,601		4	高い			
5,922,524	5	普通							
31	602004020	田原市耐震化促進計画に沿い、民間住宅等建築物の耐震化を推進することにより都市の防災性を高め、震災から市民の生命と財産を守る。	46,709,084	○	事務事業評価		・耐震化の推進に向け、無料耐震診断の実施及び耐震改修工事等の補助制度を設けるとともに、これらの制度の利用向上に向けての普及啓発に取り組んでいる。 ・制度の利用件数の向上に向けて、耐震性の低い建築物所有者に直接働きかける取り組みが必要である。	・耐震性の低い建築物所有者に対して、耐震診断の受診を促すダイレクトメールを送付した。 ・田原市民まつりにおいて耐震化促進ブースを設け、無料耐震診断の受付、耐震改修工事に関する無料相談会及び補助制度の周知を行った。	・更なる普及啓発のため、耐震診断ローラー作戦、ダイレクトメール、無料相談会及び耐震出前講座などの活動を継続実施していく。 ・無料耐震診断の受診者に対して、耐震改修工事の実施を積極的に働きかけ、診断から改修工事への移行促進を図る。
	防災・減災体制の充実		32,867,059		1	都市建設部 建築課			
	建築物耐震化推進支援事業		13,842,025		2	小川 彰則			
			34,939,429		3	極めて高い			
			22,238,284		4	高い			
12,701,145	5	普通							